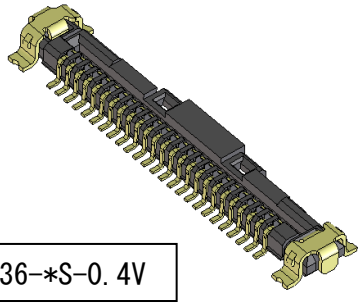
Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

1. 適用範囲

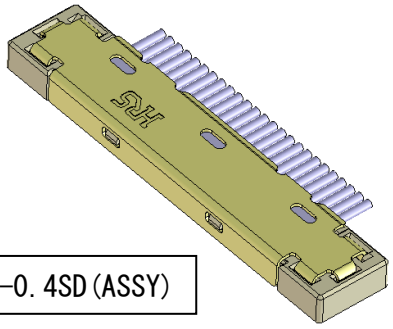
本書は、DF36-*S-0.4V および DF36#-*P-0.4SD(ASSY)の挿入・抜去を行う際の手順について規定するものです。(#：C またはなし，*：極数)

2. コネクタ品名

品　　名	名　　称	構成内容
DF36-*S-0.4V	リセプタクル	DF36-*S-0.4V (単体コネクタ)
DF36-*P-0.4SD(ASSY)	プラグ (省スペースタイプ)	DF36#-*P-0.4SD　+　DF36-*P-SHL (プラグ本体)　　(シェル)



DF36-*S-0.4V



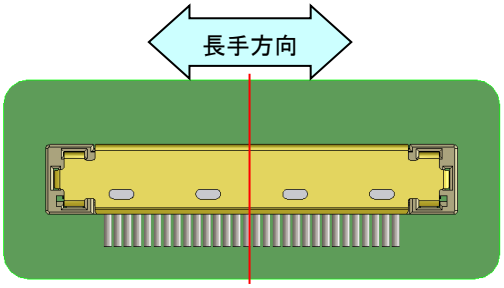
DF36#-*P-0.4SD(ASSY)

3. 作業手順

3-1. 挿入

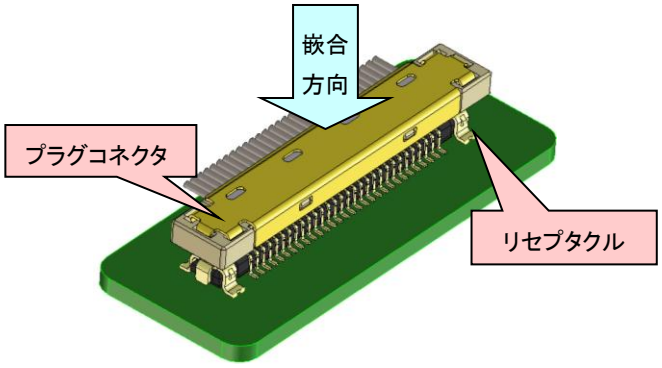
3-1-a. 嵌合位置合わせ

：シェル及びケースの端面・穴等を目安にして、リセプタクル／プラグコネクタの長手方向の中心がほぼ合う様に位置合わせを行って下さい。



3-1-b. 仮挿入

：プラグコネクタを嵌合方向に軽く押しながら前後左右のガタを確認し、リセプタクルの中央に位置されている事を確認して下さい。
(中央に位置していると前後左右のガタがなくなります。)



	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
⚠	1	DIS-D-00009849	RO. YOKOYAMA	MT. KANEKO	20211116

名　称　TITLE

⚠1

DF36 シリーズ挿抜手順書（省スペースタイプ）

HRS HIROSE ELECTRIC CO., LTD.

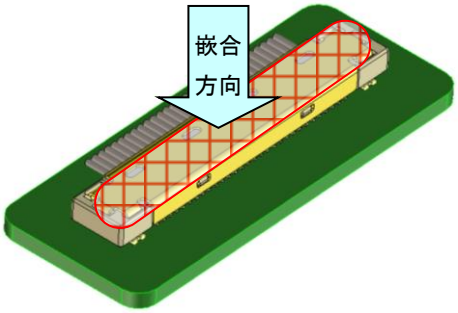
APPROVED	TS. SAKATA	20090410
CHECKED	TS. FUKUSHIMA	20090410
DESIGNED	HY. SHIOZAWA	20090409
WRITTEN	HY. SHIOZAWA	20090409

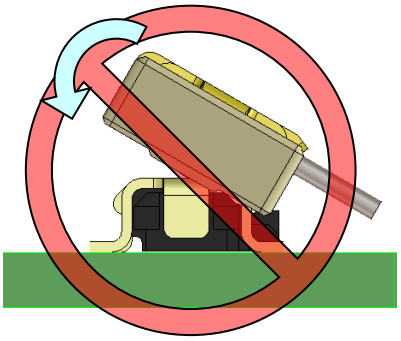
技 術 指 定 書　TECHICAL SPECIFICATION	ATAD-H0363-00	⚠	1 / 4

FORM HC0011-9-1

3-1-C. 本挿入

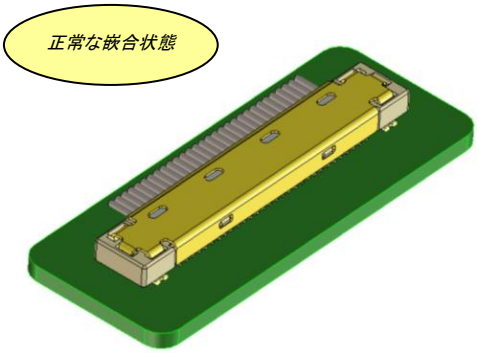
：そのまま一様な力でプラグ表面全体を真っ直ぐに押し、嵌合して下さい。
禁止マーク図の様に、斜めにセットした状態で回転方向に嵌合させますと、
リセプタクル端子に過度な負荷がかかる恐れがありますのでご注意下さい。

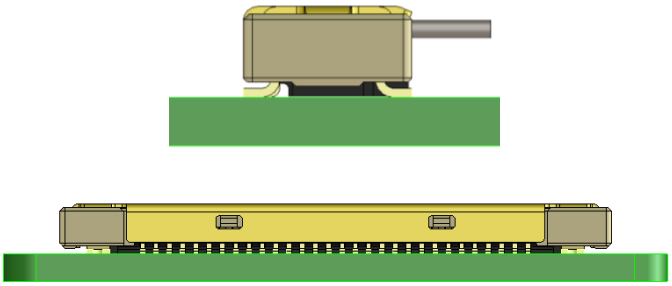


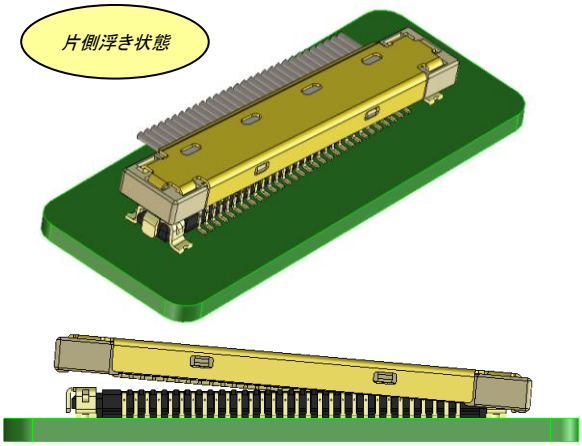


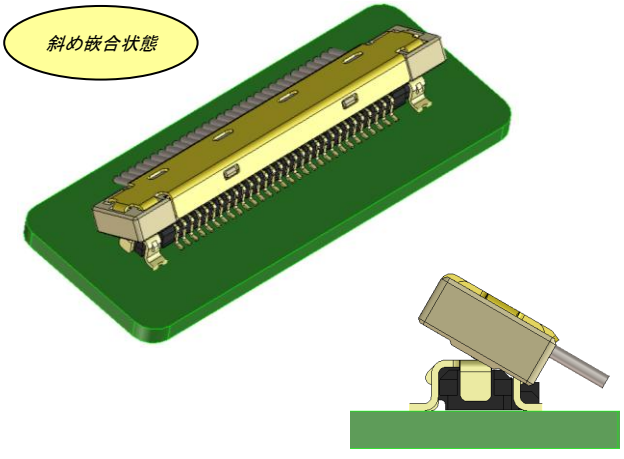
3-1-d. 嵌合確認

：プラグコネクタが確実に嵌合されていることを確認下さい。
片側が浮いていたり、斜めに嵌合されている場合は、一度嵌合を外して
再度嵌合し直して下さい。嵌合の外し方は 3-2. 嵌合抜去をご確認下さい。









Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

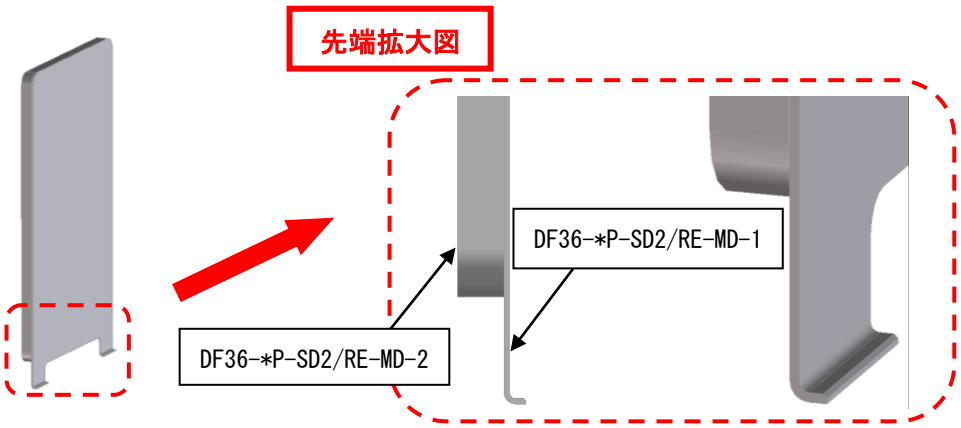
Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2. 嵌合抜去

手作業による抜去は、ケーブルの断線、コネクタの破損の危険性があります。
下記に規定する抜去治具の使用を推奨します。

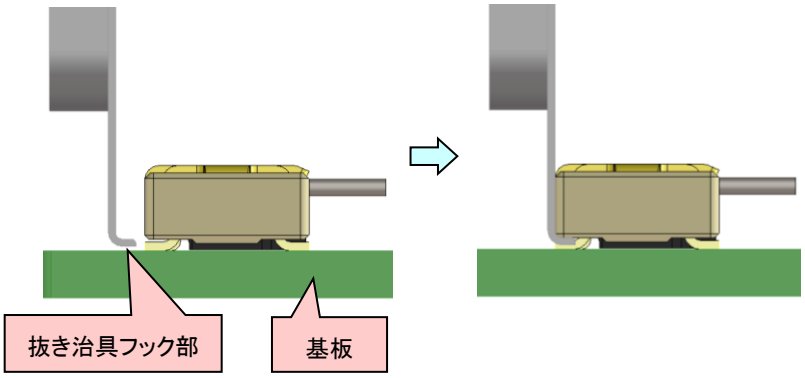
品　　名	名　　称
DF36-*P-SD2/RE-MD-1	挿抜治具
DF36-*P-SD2/RE-MD-2	

（*：極数）



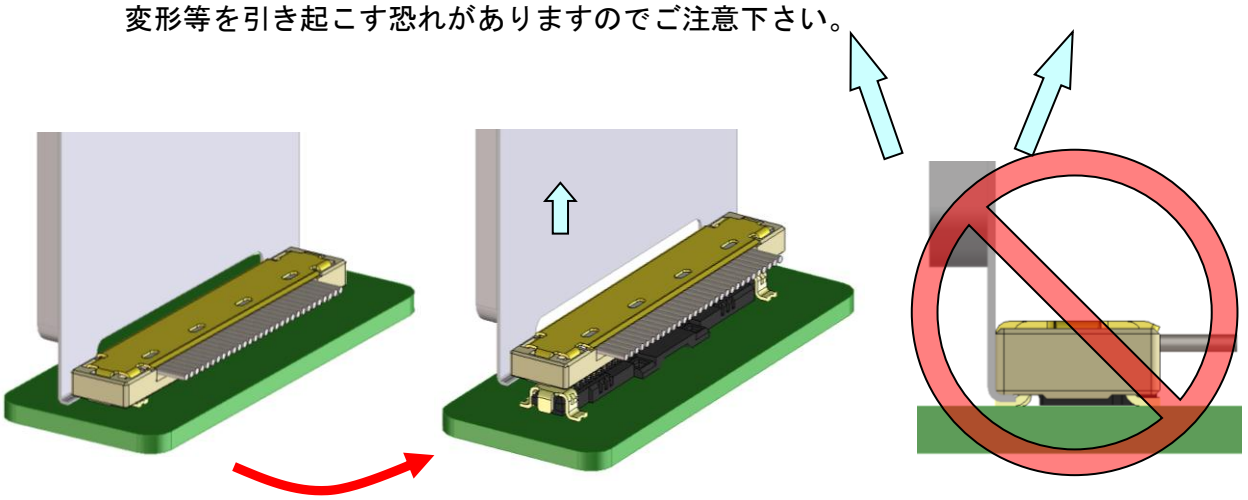
3-2-a. 治具セット

：抜き治具先端のフック部を内側に向け、フックをプラグと
基板の隙間に挿入しながらプラグに突き当てて下さい。



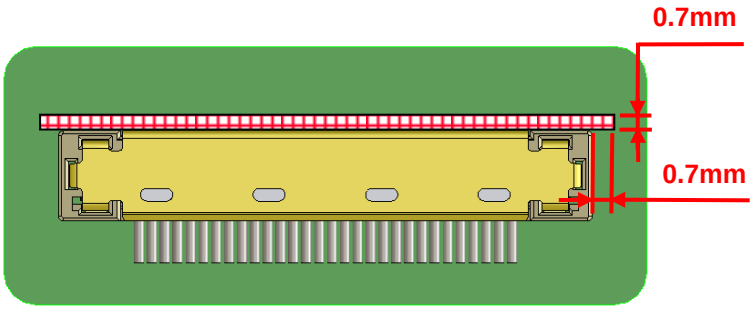
3-2-b. 抜去

：そのまま真っ直ぐ上に治具を引き上げて下さい。
禁止マーク図の向きに治具を傾け抜去しますと、リセプタクルの
変形等を引き起こす恐れがありますのでご注意下さい。

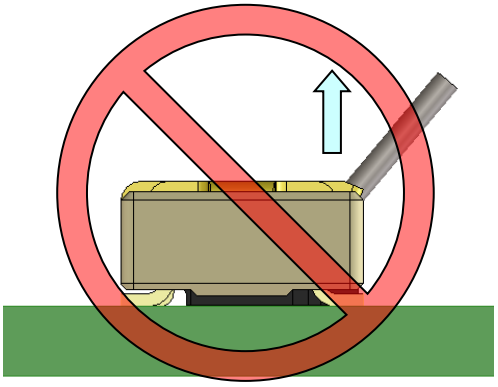


【その他の注意事項】

1. 引き抜き操作には以下のスペースが必要となります。



2. コネクタ抜去時には抜き治具を必ずご使用下さい。
   ケーブルを引っ張って抜去を行いますと、断線、コネクタの破損が発生します。



3. 抜き治具は金属製で先端フック部が鋭利になっております。
   取り扱い時の怪我にご注意下さい。

4. 本コネクタは活線挿抜に対応しておりませんので、挿抜は切電状態で行って下さい。

5. 本コネクタの挿抜保証回数は 30 回となっております。

Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.